

# コンピューター利用の語学学習法 (Computer-Assisted Language Learning/CALL) を試みてみて：その評価、反省、及び将来の展望

増山栄一エリック

【キーワード】日本語教育、e-learning、Web-Based Training、  
Computer-Assisted Language Learning(CALL)

## 1. はじめに

「自立的まなびへLe@rning」を今年のテーマとしたe-Learning WORLD 2005 Expo & Conferenceが7月20日から22日まで東京有明の東京ビッグサイト東ホール及び会議室棟で開催された。企業教育、高等教育、専門学校(予備校及び学習塾を含む)、初・中等教育、幼児教育、そして、個人のスキルアップといった様々なエリアで活用されているe-learningを紹介する“アジア最大のイベント”と命名されたこの催しには3日間で3万人を超える来場者が訪れた。外国留学生を対象とした日本語教育機関からのIT総合展示はなかったが、e-learningが日本語教育の分野でもハイスピードで普及されて来ている事は確かである。そのような中、私が兼任講師をしているO大学の2005年春学期日本語プログラムにおいて初めてのe-learning、もっと詳しく言えば、コンピューターを利用した日本語学習(Computer-Assisted Language Learning以下CALLと呼ぶ)を試みた。

ここでは、筆者の行ったCALLクラスの紹介、それを行った事での評価や反省、及びこれからのCALLクラスの提言や課題を実践報告したい。

## 2. 日本語教育におけるe-learning(CALLも含めた)教育の現状

### 2-1. 日本国外(北米)

筆者は約20年に渡り米国の高等教育機関で日本語教育にあたってきた。O大学国際教育センターの留学生の約70パーセントは北アメリカからの大学生であるため、上記の地域でのe-learningやCALL教育の現状にここでは触れたい。

NCES(National Center for Education Statistics)と呼ばれる教育統計センターによれば、学位を授与している米国高等教育機関の59%においてインターネットでe-learningが実施されていることが報告されている。特に公立の4年制大学では91%でという非常に高い割合で実施されている事も分かっている。

このインターネットによるe-learningのタイプは大きく分けて「講義型」と「教材型」があって、前者は教室で行われている授業をその場で録画して、それをビデオストリーミングによってインターネットを通して配信するタイプであるが、日本語教育の分野で多く見受けられるのは、「教材型」使用のプログラムで、それもフェニックス

大学のようなオンラインでの遠隔教育書学位取得プログラム、例えば授業シラバス、教科書、補足マテリアル、参考文献、レポート提出の課題等がしっかりとしたカリキュラムとして確立された大規模で専門的なプログラムは存在しないと言ってよい。それはやはり言語はインクラスでの対人的な「生きた」練習が主流で、コンピューター学習はサブマテリアルであるといった考えが教師の間に存在しているからである。しかし、日本語学習の一手段として開発されたウェブ教材をインターネットを使ってランゲージトレーニングに使ったり、日本語コンピューターソフト教材を自分で開発したり、シェアしたりして日本語学習の一環としている日本語プログラムが多くなって来ている。米国の日本語における教育者求人情報を見ると、10件に3、4件の割合でCALL指導経験者を探している事からもそれへのニーズや関心がある事がうかがえる。

それではどのような教材がCALLで使用されているのか。米大学の私の昔の同僚、知人30名に連絡を取り調べた所では、やはり漢字に関するウェブサイトやソフトが一番多く、語彙と文法のそれをはるかに超えている。学生、特に白人学生の漢字に対する強い興味や宿題として自主学習させるのに容易であるが故に早くからCALL教材として開発、使用がなされてきている。また、最近多いのは自分の大学で使用している教科書に則したCALL教材の開発である。日本では名古屋大学が自学で製作した教科書の為の専用ウェブを開設しているが、アメリカでもそのような動きはあるので、もっと大規模なe-learningを利用した日本語プログラムも近々登場するのではないだろうか。

## 2-2.0 大学における e-learning 教育の現状

さて、上記では米国の大学を初めとする高等教育機関におけるe-learning教育の現状を説明して来たが、O大学においては、e-learningはどのように捉えられ、どの程度カリキュラムに取り入れられているのであろうか。

2005年度の春学期の終了間近、O大学ではe-learning Initiativeと命名されたITとネットワークを利用した教育について考えるプロジェクトが立ち上がった。今後、e-learningカリキュラムの構築を目指すとの事であるが、e-learning Initiativeの目指す所は、付属高校も含めたO学園学生の為のITキャンパスプログラムだけにはとどまらず、サテライト使用の通信教育や学園生の自宅受講、他大学とのIT協定、社会人の為のオープンカレッジ、中国を初めとする海外における留学希望者を対象としたコンテンツビルディング等にもおよび、これから先のO大学における、e-learning教育には注目の価値があると思われる。

従って、目下大学全体レベルでの確定、構築されたe-learning教育カリキュラムは未だに存在はしていない状況であるが、上層部からの現場でのe-learning教育実施の期待は強く、プログラムレベルでのe-learning授業の試みは芽生え始めている。その一つが筆者の国際教育センターにおける合併コアーを使ってのコンピューターを利用した語学学習である。

## 2-3.0 大学国際交流センターと合併コアー

1991年にThe Reconnaissance Japan (RJ) Programを開始して以来、近年ではO大の国際交流センターはコンスタントに1学期80名を超える交換留学生を受け入れている。全世界に広がった提携校は、目下アメリカ25校、カナダで3校、イギリス5校、オーストラリア3校、ブラジル2校、タイ、インド、チェコ共和国、各1校ずつである。それに加えて近隣では中国で13校、韓国で5校、それに、台湾2校、香港1校とも提携を結んでいる。

交換留学生対象日本語クラスは学生の日本語レベルによってRJ-I(初級)からRJ-VI(上級)までの6つのクラスに分けられる。筆者が2005年春学期に担当したRJ-IIレベルの場合、必修科目は6クラス6単位で、そのうちの4クラス4単位が日本語のコアクラスと呼ばれる日本語学習の中心クラスである。これに加えてコアチュートリアルと呼ばれる学生の日本語学習の上でウイークポイントや学習が必要と思われる個所を講師やチューターが補講的に補う必修チュートリアルクラスが1クラス1単位、そして、RJ-IとRJ-IIの学生達が合同で共通の内容を学習する合併コアがやはり1クラス1単位設定されていて、これら6クラスを履修する事で6単位の必修日本語の単位が獲得できる。RJの学生達はこれらの必修日本語クラスに加えて、選択日本語科目として「サバイバル会話」、「漢字」、「新聞とニュースで学ぶ現代日本語」、「日本語で学ぶ現代大衆文化」、「文芸と表現」等を履修できるが、初級レベルの日本語力では履修できない選択科目が多いので、そのレベルでの履修科目にバラエティーを設けようと考案されたのが合併コアクラスで、e-learningのカリキュラム導入が推奨されている学内状況も手伝い、コンピューター利用のウェブベーストレーニングがそのクラスのコアカリキュラムとなった。

その合併コアの学生の属性は以下の通りである。

レベル 初級

学生 RJ I 3名 RJ II 11名 計14名

国籍 アメリカ8名 イギリス、オーストラリア、カナダ、ブラジル、フィンランド、バングラディッシュ 各1名

この合併コアクラスは春学期開始前学生達のCALLに対する興味や反応がまだ把握できておらず、加えて、CALL学習に集中できるかどうかにも不安があった。そこで、授業に関してはある程度幅を持たせ、コンピューターを使用するかテキスト等のハード材料で勉強するか等は学生が学習計画表で自律的に進めるものとした。

尚、学期開始時のアンケートでは、14名中13名がなんらかの形で「コンピューターを使った学習をしたことがある」と回答していた。そして、13名が「コンピューターが好きである」と回答しており、クラスが始まるにあたり学習方法に対する戸惑いやコンピューター操作に対する不安は特に感じられなかった。実際、コンピューターをどのくらい使用して学習してみたいかという問いに対しては「コンピューターとテキストなどの冊子の両方で学習したい」という回答が10人(71.4%)に上っていた。

#### 2-4. 毎合併コアクラスにおけるクラス活動の詳細

2005年4月11日から7月11日まで14回この合併コアクラスが行われた

が、その各々のクラスにおけるクラス活動の概要を下記に示す。但し、5月2日、6月6日及び27日は体験日本語と呼ばれる日本文化を体験する催しが企画されていた為に、クラス内での学習は実質11回に留まった。

### 第1週（4月11日）

授業トピック：コース紹介及びO大学やRJプログラムについて検索する。

授業内容：コース紹介の後、下記のタスクシートの質問をO大学のHPを使って答える。尚、タスクシートはRJ-Iの学生には英語で書かれている物、RJ-IIの学生には日本語で書かれている物が使用された。ほぼ90分がこのタスクに費やされた。

クラス活動の為に学生達に配布されたタスクシート：

O大学のHPを開いてください。

リーディングチュー太のサイトを使って翻訳しましょう。

1) キャンパスマップを開いてください。地図で探してください。

1. この教室の場所はどこですか。

2. 今日の1限のコアクラスの場所はどこでしたか。

2) e-campusを見てください。

1. 明日のコアクラスの時間、教室、先生の名前を書いてください。

2. コアクラスで使うテキストの名前は何かですか。

3. RJ I、IIで取ることのできる選択科目の名前は何かですか。3つ書いてください。

4. 中間テストはいつですか。

5. 出席は評価の何%ですか。

6. このタスクシートを完成させて、学生用の保存ファイルに自分の名前のフォルダを作って保存してください。それから“提出用ファイル”に提出してください。

3) スクールバスの時刻表を探して、印刷（print out）してください。

4) 今日のタスクはどうでしたか。

教師の特に気付いたポイント：初めての授業のせいだろうか、学生達は集中して与えられたタスクを行っていた。しかし、90分という時間は長すぎるように感じる。事実、自分の好きな英語のサイトを見ている学生が目についた。

注目すべき学生のコメント註1)：特になし

### 第2週（4月18日）

授業トピック：日本語学習に役立つ様々なウェブサイトの紹介とそれらを実際に使用し学習してみる。

授業内容：ひらがなとカタカナ練習のサイト、動詞て形活用の練習サイト、漢字練習サイト、助詞の練習サイト、そして、RJ-IIの学生が春学期使用する教科書のサイト、及び助詞のチェックサイトが紹介されて、学生達はそれらにアクセスして、必要と思われるサイトや興味のあるサイトで練習を試みた。

クラス活動の為に学生達に配布されたタスクシート：

Today, we will introduce you several web sites. Choose the best ones that you would like and study with them. If you cannot find the web sites that you would like to study with, you may study with

the textbook, etc. that you have. We will be using study record and study plan sheets next month. Please use the second page to do today's tasks. You may use English.

#### Check your *hiragana & katakana*

You can check how much you remember *hiragana & katakana* in a quiz-like format.

<http://www.isc.toyama-u.ac.jp/~raicho/self/top.html>

→ Hiragana quiz

→ Katakana quiz

#### Make sure about the te-form conjugation

You can review te-form conjugation in a very simple manner. In RJII class this week, we will review te-form. You might as well review here in advance!

<http://www.isc.toyama-u.ac.jp/~raicho/self/top.html>

→ Verb Forms 動詞 [ どうし ] フォーム → te-form quiz

#### Kanji Practice

You can learn *kanjis* along with Basic Kanji Book Vol. 1&2 that many of you may have. Each of you should choose the lessons that you are presently on and review the reading and writing of the *kanjis* <http://webjapanese.com/>

→ Choose Kanji worksheet. → Click the lessons that you are on. → Start.

#### Level II Textbook Site

Do grammar & *kanji* check. For the level II students, we will be start studying Vol. 2 in May. Before we do, you may check the contents of Vol. 1 here. Here, you may have to remember that this website is for the previous edition; hence, the contents on the web site may differ little from the present textbook that you may have.

<http://mercury.ecis.nagoya-u.ac.jp/WebCMJ/>

→ Go to each lesson.

#### Particle Check

Can you use particles well? On this site, you can quiz yourself on particles very easily.

<http://www.isc.toyama-u.ac.jp/~raicho/self/top.html>

→ Particle quiz

Questions:

Before you start studying, write the following.

What are you planning to study today?

Write the following at the end of the class.

Did you study as planned?

What did you study? How was it?

Do you have any opinions on today's class?

教師の特に気付いたポイント：学生達は興味を示して紹介されたサイトを利用していたが、やはり先週と同じようにサイト利用が長続きしない。ただ単に紹介して学生にそれらを自主的に利用するように促すより、もう少し教師側で課題を提示した方が、より学生達が長く集中してタスクを行えるのでは。

注目すべき学生のコメント：特になし

第3週（4月25日）

授業トピック：翻訳サイト検索と来週の体験日本語で訪れる鯉のぼりフェスティバルの下調べをする。

授業内容：翻訳サイトを利用して見た後に、タスクシートに紹介されたサイトへ入り、来週体験日本語で訪れる相模川の鯉のぼりフェスティバルに関連したサイトを閲覧。加えてタスクシートの問題に答えた。

クラス活動の為に学生達に配布されたタスクシート：

Let's do some tasks, using web sites first today! Choose the ones that you like from last week's task sheet and continue to study on them. After that, we will practice using the following sites in order to get ready for next week's *taiken nihongo* together.

Translation & Furigana Sites

リーディングチュー太 (Reading *chuta*) <http://language.tiu.ac.jp/>

Practice 1) Use the dictionary function and check what the following mean.

翻訳 時刻表

Practice 2) Find the HP you like and translate some part of it. When done, copy it below.

Bus Timetable

神奈川中央交通 (バス) <http://www.kanachu.co.jp/>

Some tips to work on the task below: On the HP, go to 「時刻表、運賃案内、リアル案内」, then enter 「桜美林学園」 in 「バス停の名称」 at the left corner below, then 「桜美林学園」「次へ」, and click 「平日」(week days) 「土曜」(Saturdays) 「休日」(holidays) of 「町田バスセンター行」.

Practice 1) Check the timetable for the buses that go to the Machida Bus Center from Obirin U. How many buses do we have for the 5 o'clock hour during the week days, on Saturdays, and on holidays? Check them all and write down what you have found.

**Children's Day** 子供の日 (こどものひ)

HPを見て、こどもの日やこいのぼりについて調べましょう。後の問題に答えてください。

ヒント：YahooHPの検索で、「こどものひ こいのぼり」と入れてみましょう

**Children's Day** 子供の日 (こどものひ)

Check home pages and find out more on Children's Day and carp streams. Answer the following questions. Here are some tips for you! Enter *kodomonohi koinobori* on the Yahoo HP to start up for this task.

Q1) What kind of day is *Kodomo no Hi* ?

Q2) When did the Japanese start putting carp streams up? Why?

Q3) How many kinds of carp streams are there?

Q4) Let's look into *Sagamigawa* Carp Stream Festival? What kind of festival is it?

Q5) On May 2nd, we will go to see the carp stream festival for *taiken nihongo*. How will we get there from the university? Where is it located?

リーディングチュー太 <http://language.tiu.ac.jp/>

神奈川中央交通（バス） <http://www.kanachu.co.jp/>

相模原市観光協会 <http://www.e-sagamihara.com/eventkoinobori.html>

教師の特に気付いたポイント: 学生達は鯉のぼりや子供の日という日本の伝統文化に触れて、その発見と感動に喜びを示していたと感じた。英語のサイトに私達も、そして学生達も頼ってしまった所があるように思う。もっと日本語のみのサイトだけを使用して検索利用させたら、日本文化の習得に加えて日本語学習にもつながり、もっと時間をかけて有意義に子供の日や鯉のぼりの勉強ができたのでは、、(下記の学生のコメントがそれを支持していると思われる。)

注目すべき学生のコメント: ” I wanted to take advantage of easy Japanese-language sites on these, instead of English ones.”

第4週（5月2日）

授業トピック: 体験日本語（相模川にかかる鯉のぼりを見に行こう!）

授業内容: 体験日本語活動の為にクラス内での授業はなし。

第5週（5月9日）

授業トピック: 日本語でのコンピューターキーボード入力の練習と前回行ったサイトや今回紹介したサイトを使っての日本語ウェブトレーニング。

授業内容: 「まりも」と「ファイター」という2つの日本語キーボード入力練習ソフトを使っての授業。キーボード練習に90分クラスの半分近くを費やした後、前回紹介したサイトと今回紹介したサイトを使って日本語学習を行った。

クラス活動の為に学生達に配布されたタスクシート:

今日の学習 1. キーボード入力 2. 学習項目決定、実施

☆日本語入力の練習をしたいとき、以下の順序でできます。1度試してみましよう

「まりも」 　　少しローマ字が打てる時、その練習にいいです

マイコンピュータ→サーバー→練習ソフト→まりも→Tmarimo→セッテイ→モジ設定  
(キーボードの打ち方を設定する)→レベルセッテイ→速度を設定する(左に行くほどやさしい、右に行くほど難しい)→問題の難易度を選ぶ(3つの丸のうち、一番左の“普通”が一番やさしい、次が真ん中、右、の順)→×で消す→ゲームスル

「ファイター」 　　ローマ字入力で敵と戦おう

マイコンピュータ→サーバー→練習ソフト→OZK

☆来週から勉強する内容を決めましよう。決めた人から学習記録表を書いていきます。

(今日の参考サイト)

語彙、漢字神経衰弱ゲーム

<http://www.mc.maricopa.edu/~emiahn/concentration.htm>

日本語入力練習（1から練習したい人向け）

<http://www.arts.monash.edu.au/subjects/japanese/sakura/>

PCで勉強したい人は、以前紹介したサイトを使用ましよう

文法（クラスの復習に）

名古屋大学 <http://mercury.ecis.nagoya-u.ac.jp/WebCMJ/>

漢字 (漢字のクイズもあるのでチャレンジしてみましょう)

web Japanese <http://webjapanese.com/>

教師の特に気付いたポイント: ゲーム感覚で日本語のキーボーディングを練習できるので、皆、楽しそうに練習していたが、やはり90分というタイムフレームの中で、ほとんどの学生達が途中で与えられたタスクをやめ、自主学習を行っている。確かに好きな学習を薦めているプログラムなので、それでいいのだろうが、それのできるチュートリアルはちゃんと他の時限に存在するのであるから、CALLをして欲しいと個人的には思える。その為にはもっとコントロールされたクラス運営が必要なのもかもしれない、いいサイト教材は揃っているのだから。

注目すべき学生のコメント: 特になし

### 第6週 (5月16日)

授業トピック: 自主学習

授業内容: 13人の学生が出席。2名の学生はウェブを使用してのひらがな、カタカナ及びキーボーディングの練習。4名の学生は語彙、文法及び助詞の自主学習を行った。残りの7名の記載はなし。

教師の特に気付いたポイント: 上記のウェブ使用の2名の学生はコンピューターを利用するのが好きのようだ。従って、90分間それを使っても飽きないのであろう。しかし、残りの学生はそれができない。もう少しコンピューターを使ったクラス全体の授業ができないものだろうか。

注目すべき学生のコメント: 1人の学生が次の様なコンピューター授業に関するコメントを記述した。“The website is useful, but I think I need more practice on different form changes.” つまりこの学生がこの日に勉強していた動詞の活用練習、例えばて形やない形にもっと時間を費やしたいと述べていた。

### 第7週 (5月23日)

授業トピック: 自主学習

授業内容: 13名が出席。5人がコンピューターを使用。2人はウェブのひらがなとカタカナ練習。1人の学生はウェブで文法練習。あとの2名はコンピューターで手紙を書いていた。2名の学生がクラスゲストと日本語会話の練習。5名はコアクラスで少し遅れ気味な為に、一緒に合併コアを担当している久保田講師によって補講セッションを行った。そして、残りの1名は文法と語彙を自主学習していた。

教師の特に気付いたポイント: 上記のようにクラスに遅れ気味の学生の為に補講を行ったが、反響はいま一つ。自分達のペースでやらせた方がいいのかもしれない。コンピューターを使って練習する学生達は少ない。もっとタスクをしっかりと与えてコンピューターサイトを使って文法、助詞、漢字等を勉強させた方がいいと感じる。下記の学生のコメントはタイムリーだと思った。

注目すべき学生のコメント: **Need more enforced, task-oriented computer class! If we cannot have it, the class should be optional, not required.** 自分にまかせたクラスではなく、もっとしっかりとタスクを与えられるクラスを望んでいるようだ。



平均満足度：89%

第8週（5月30日）

授業トピック：自主学習

授業内容：13名が出席。2名がコンピューターを使用。その内の1人は紹介されたウェブを使ってひらがなとカタカナの練習で、もう1人は日本語で手紙を書いていた。ゲストとの会話練習は1人。2名は記述なし。残りの学生達の多くは近づいている中間テストの勉強を行っていた。

教師の特に気付いたポイント：中間テストの勉強にこの時間を使った学生が多かった。一生懸命勉強しているのだから、こちらも一生懸命にチューターとなって学生達を助ける。でもやはりこれはコンピューターのクラスであって欲しいと思ってしまう。RJ-IIで使っている名古屋大学の教科書に則したウェブを利用して練習問題をするのなどは効果的な勉強方法だと思うが、やはり教師側からイニシアチブを取った学習法を使った方がいいのではないか。

注目すべき学生のコメント：“Katakana is good now, but I am forgetting hiragana. Are there any materials to practice writing hiragana + katakana? I can read both, but have trouble, writing, especially katakana.” サイトで学習し、自分の足りないところに気づく。そして、書いて覚えたいという希望が出ている。

平均満足度：84%

第9週（6月6日）

授業トピック：体験日本語（弓道もしくは華道を体験しよう！）

授業内容：体験日本語活動の為にクラス内での授業はなし。

第10週（6月13日）

授業トピック：自主学習

授業内容：この日の出席は13名。コンピューターを使った学生は2名（1人は文学創作でもう1人はひらがな、かたかな及び動詞にて形勉強。）。4名は記載なし。残りの学生達は文法、漢字及び語彙やクイズの復習等に時間をあてていた。

教師の特に気付いたポイント：1人の学生は詩を書いていたが、それもコンピューター利用の日本語学習法か！？

注目すべき学生のコメント：“Need a te-form writing practice sheet.” PCが好きだが、書いて覚えたいと先週同様に書いている。” たのしい。Left my verbv book at home. Had to go from memory and verb conjugations in the back of my other book. My computer can't read Japanese.” 学校でPCをするメリット。

平均満足度：90%

第11週（6月20日）

授業トピック：自主学習

授業内容：13名がこの日の合併コアークラスに出席。3名がコンピューターを使用して学習（1人はウェブで文法の練習を、あとの2名はウェブで映画のチケット購入にトライしていた。）。2名はいつもの通りクラスゲストと会話練習。6名の殆どは自動詞、他動詞及び受身の文法学習を行い、残りの2名は記述なしであった。

教師の特に気付いたポイント：上記のように学生が日本語のウェブサイトに入って映画のチケットを買おうとがんばっていた。理解できない箇所は多々あったようだが、いい練習になったと思った。こんな事をタスク化してもっとバリエーションを持たせて、例えば航空券を購入するとか、JRで旅行プランを立てるといった練習をCALLの練習に取り入れる事ができればいい練習になると感じた。

注目すべき学生のコメント：特になし

平均満足度：69%

第12週（6月27日）

授業トピック：自主学習

授業内容：13名がこの日の合併コアクラスに出席した。その内2名がコンピューターのウェブを使った自主学習。3名は詳しい記述なし。残りの8名は語彙、文法、漢字を勉強した。

教師の特に気付いたポイント：1人の学生が航空券をウェブで購入しようとしていた。先週のコメント同様にいい練習だと思った。

注目すべき学生のコメント：特になし

平均満足度：78%

第13週（7月4日）

授業トピック：体験日本語（平塚の七夕を見に行こう！）

授業内容：平塚の七夕を9日もしくは10日に見学に行く為、代休。

第14週（7月11日）

授業トピック：自主学習

授業内容：13名の学生が最後の授業となるこのクラスに出席した。その内の2名がコンピューターを使ったウェブリサーチに時間を使い、もう1名もコンピューターを使って文学創作を行った。また、2名がゲストの学生と日本語会話をし、残りの8名はテストの準備、授業の復習、文法や漢字、それに宿題等の自主学習にこの時間を利用した。最後10分ほどの時間はこの合併コアに関するアンケートの配布、回答に費やされた。

教師の特に気付いたポイント：1人の学生がコンピューターを使って詩を書いていたが、彼女はやりたい事をやっているのか、やる事がないからしているのか分からない。

注目すべき学生のコメント：特になし

学生の平均満足度：83%

#### 4. アンケートに見る学生達の反応

合併コア授業最終日、英語によるアンケートを学生14名に配布し、全員回答の回収率100%を得られた。以下はアンケートの結果である。

How often did you use the computer in this class?

Every time	2名 (14.3%)
80%	2名 (14.3%)
50%	3名 (21.4%)

30%	1名 (7.1%)
Rarely used	6名 (42.9%)
Tell us why. (複数回答有)	
Like the computer.	6名 (30%)
Found interesting sites.	3名 (15%)
Wanted to check on some things.	3名 (15%)
Had nothing to do.	3名 (15%)
Don't like the computer.	1名 (5%)
Wanted to do something else.	4名 (20%)

コンピューターを頻繁に利用した学生とほとんど使用しなかった学生に大別される。ほとんど使用しなかった学生の一部は毎回クラスゲストとの学習を行っていた。それ以外の学生は「何をしたいか分からない」という状態になったのではないかと。学期当初、学生にとって役に立ちそうなサイトを教師主導で紹介し、タスクを与えていた。その際、学生は熱心に取り組み、タスク達成度を印刷・保存したりもしていた。しかし、その後、学生自身で計画を立て、実施するようになると一部の学生は何をしたいか分からなくなったのではないかと。

What PC program(s) did you like? Circle the ones that you liked and cross the ones that you didn't like. And provide reasons for each. (複数回答可)

Keyboarding exercise	7名 (21.2%)
Introduced to various sites.	4名 (12.1%)
Kanji practice, using the web sites	3名 (9.1%)
Grammar practice, using the web sites	3名 (9.1%)
Able to surf on the internet.	7名 (21%)
Able to write and print, using the computer.	4名 (12.1%)
Others ( )	0名 (0%)

日本語入力の練習は、ゲームをしながら学べるソフトがインストールされていたため、楽しかったと記述している。普段からコンピューターに慣れ親しんでいたため、日本語入力でメールや文章を書くことに興味を持ったのだろう。また、インターネット検索は体験日本語の準備として利用したのだが、その際に翻訳、電車の乗りかた、検索方法などを学習したことが役に立ったとの記述があった。

一方で、学習サイトについては満足度に差がみられた。ひらがなカタカナのチェックができる学習サイトは、「自分にとって必要な時間だった」「楽しかった」との回答が得られた。それに比べて漢字や文法サイトは「難しい」「自分のレベルに合わない」「飽きてしまう」という意見と「役に立った」「たくさん勉強した」という意見に大きく分かれた。漢字学習は個人により進度も覚え方も違う。非漢字圏の学生にとって、急に画数の多い漢字が出てくるなど、多くの漢字を使ったクイズは学習スタイルと日本語のレベルに合わなかったものと思われる。

尚、好きではなかった活動については、いろいろなサイトの紹介が1名、漢字と文法学習が2名ずつだった。

How do you think we should do on this course? (複数回答有)

Instructors should teach more in class.	3名 (16.7%)
Want to have more time to do your things.	2名 (11.1%)
Want to have more time to use the computer.	0名 (0%)
Want to have more class guests.	3名 (16.7%)
Happy with the present.	7名 (38.9%)
無回答	(11.1%)

この時間は自分にとってどのような時間であったかという問いに対し、13名が「自分で学習する時間」と回答している。しかし、「教師がもっと指導してほしい」と回答している学生もいる。つまり、何をするためのクラスかは認識していたものの、教師やクラスゲストによる学習の直接的な手助けを望んでいたといえる。無論、教師と1対1で学習することはクラス内で日常的にあった。しかし、学生は学習支援のみにとどまらない、コアークラス、つまり通常の文法授業クラスの補講的役割を担う、より具体的な日本語指導も求めていたと考えられる。

## 5. 今回の合併コアークラスの評価、反省及び将来への展望

### 5-1. 評価と反省

初めての試みであったCALLは反省点、今後の課題など検討事項は多い。

#### 1) 「より自由に、主体的に自分の学習を組み立てる、、、」の誤理解

これはO大学の教育理念である。筆者も教育者として多いに共感する所があり、今回の合併コアークラスでもそれを根底に置いたつもりであったが、うまくファンクションしなかった。上記のクラス活動の詳細の中に「学生の平均満足度」が記載されている。いずれも高い満足度であり、その数字のみでは自主学習はあたかもプロダクティブであったかのようなではあるが、「教師の特に気付いたポイント」(7月11日)にも記載したように、「やりたい事やっているのか、やる事がないからしているのか分からない」部分が今回の学習及びコンピューター利用学習にあったような気がする。好きな事をやる事とプロダクティビティー向上は必ずしも正比例するとは限らず、特に今回チョイスを与えすぎた感がある。例えば、第2週目のクラスでは多くのサイトが紹介され、学生達は好きなサイトを自主的に選択し、自主学習を行う事ができた。が、中には、練習をやめて、英語版のサイトへ入り、興味のある物を検索し始める学生もいた。

池田(2003)は教師の役割は、学生の学習状況を観察して使い方を教えたり適当な教材を選んだり、ルールについても注意する「学習アドバイザー」の役割が求められるとしている。そして、「個々の学習状況の把握」し、「学習履歴を分析」し、「学習者への適切なアドバイスや教材の改善」をすることが大切だとしている。教師側で学習の管理の視点をさらに持つことも必要だったと感じている。

#### 2) 90分授業という時間の長さ

上記のように興味のある物を検索始めるといった学生達の集中の低さの理由の1つに、90分授業という米国学生の慣れていない時間の長さがあった。米国の大学の授

業の70%以上は50分で、事実RJ-IIの学生9人にインタビューした所すべての学生が授業が長すぎると回答している。註3) 例えば、前半45分をウェブトレーニングに、そして、後半をクラス補足の自主学習にでもすれば、もっと効果的なウェブクラスと自主クラスが作り上げられたのではないだろうか。

### 3) 授業に則したウェブサイトの活用

今回様々なサイトやソフトを紹介したが、それらがもっと直接的にコアーの日本語のクラスにタイアップされていれば学習意欲や成果は上がったように思える。特にRJ-IIの学生達は名古屋大学の *A Course In Modern Japanese* を使用していて、その教科書のウェブは合併コアーのクラスで紹介されていた。ただ紹介するのではなく、日本語コアーでやった項目をウェブを使用して復習させたり、予習させたりといった授業に則したウェブサイト活用がなされれば、同じコアークラス間でもっと連携されたタイトで効果的なクラス運営が行われたのではないだろうか。

### 4) チュートリアルクラスの目的の明確化

文頭でも明記したが、RJ-IとRJ-IIクラスはコアー日本語クラスが4時間、合併コアーが1時間、そしてコアーチュートリアルが1時間の合計6時間で成り立っている。これより他に学生達は選択科目として、イレクティブのチュートリアルクラスも履修できるのであるが、それを取った場合、チュートリアルと称されているクラスが2つに合併コアーで自主学習をすれば、3時限分チュートリアルつまり自主学習をする事になる。チュートリアルとは元々個別の指導時間で、学生が問題や質問がある際に使用されるクラスである。それが3時限分も必要であっただろうか。コアーチュートリアルも今回初めての試みで、私達の教授した合併コアー同様暗中模索でクラスを進めていた。その結果、合併コアー同様に学生が授業に集中しない状態が発生していた。上記したようなクラス間での連携をして、各々のクラスの目的を明確化すべきであったような気がする。

例えば、コアーチュートリアルでは漢字専門のチュートリアルクラスで漢字のみを指導者の下で自主学習する。選択のチュートリアルは自分の問題のある部分を補強する為の個別指導時間、そして、合併コアーの自主学習の時間はもっとコンピューター利用の学習時間にする、といったような細分化、目的化、そして専門化がチュートリアルになされれば、学生達はもっとチュートリアルごとに違ったフォーカスを置く事ができたのではないだろうか。

## 5-2. 将来への展望

2005年度の秋学期、筆者は合併コアークラスを担当してはいないが、後任の講師達が上記した評価と反省を元にし、一步改善された合併コアークラスが始まった。今回改善を施した個所は、以下のとおりである。1) 私の望んでいたWBTのみにフォーカスを置いたクラスカリキュラムである。つまり90分すべての時間をWBTに費やす事とし、中盤に10分ほどの休憩を挟む事を検討している。これによって時間の長さへの不満が解消されるであろう。2) コアー授業に即した合併コアークラスへの努力をする。RJ-II bのクラスは後期もテキストに名古屋大学の *A Course In Modern Japanese* を

使用するため、日本語のコア授業の文法項目を、RJ-II bの学生にWBTを使って直接的に指導する計画も盛り込まれている。また、秋学期の合併コアクラスでは自律性に関しての焦点は置かれず、教師が生徒に毎回タスクを与えるというクラスフォーマットを採用している。評価と反省の1)でも指摘したように‘自律学習能力’(トムソン1998)が育っていないため、CALLによる自身の学習動機を把握していない学生もいる。RJ-I及IIの80%以上が新規来日学生という状況を考えると、講義形式の一斉授業の方が学習効果があがるとも考えられる。チュートリアルクラスもコアチュートリアルは漢字にフォーカスをあてる計画でいるとのことである。

このように、CALLクラスは改善が行われつつある。今後も新たな問題が生じると想定されるが、その都度評価、反省、そして、リインフォースメントがなされ、RJの合併コアクラスがよりよいクラスに変化していくことを望む。

この秋学期からO大学の新宿キャンパスで別科日本語のプログラムがスタートした。そして、そこでもCALLのクラス導入が考えられている。大東文化大学の別科プログラムのみではなく、その他の別科プログラムの方々にO大学別科におけるCALL教育の状況を近い将来にお知らせしたく思い、まずは同大学最初の日本語教育におけるCALL導入の現状を教授現場から報告させていただいた。

尚、この論文執筆にあたり、一緒にこの合併コアを担当した同僚の久保田美映講師には多大なアドバイスや援助をいただき、ここで感謝の念を表したい。

註：

- 1) これらのクラスの他に中国語・英語・韓国語で行われる政治、経済、経営、日本文化や文学等のクラスも1学期に2, 3科目履修できる。また、日本語のプレースメントテストの結果次第では日本学生と同じクラスも受講できるシステムになっている。
- 2) 注目すべき学生のコメント及び後に登場する平均満足度は、学生が記入しない場合もあり、平均満足度は記載した学生の平均値である。このクラスでは毎週学生記録表を付けていた。学習記録表とは毎回学習内容と学習リソースを記入し、自己満足度およびコメントを書いたものである。
- 3) 学生達に下記のような質問で5分程度のインタビューを行った。

How do you evaluate the CALL that you had in this semester's combined-core course?

What program did you find the most useful (did you like the most)? & Why?

What program did you find the least useful (did you like the least)? & Why?

Were 90 minutes too long for CALL classes?

How much time do you think is enough for CALL classes?

参考文献：

池田伸子(2003)「CALL導入と開発と実践—日本語教育でのコンピュータの活用」くろしお出版

トムソン木下千尋(1998)「学習契約書を使った自律学習の試みー実例からの考察ー」  
『第二言語としての日本語習得研究』2 凡人社

US. Dept. of Education, Office of Educational Research and Improvement & National Center  
for Education Statistics, *Distance Education at Degree-Granting Postsecondary Institutions:  
2000-2001*, Washington, D.C., 2003.

資料 (1)

XXXX University

Spring Semester, 2005

**Combined Core Syllabus**

This class will meet at 10:40-12:10 every Monday at Room 1309, starting on April 11 until July 11.

**Method of Instruction:**

- This is a computer-assisted combined core course, designed for both RJ I and II students.
- Each student will utilize a computer (or use the materials chosen by yourself, depending on the class schedule) in this class.
- The instructors of this combined core will not do any lectures in class, but they will act as your advisors.

**Purpose of the Course:**

- This class is designed for the students to individualize, visualize, and “communicate with” language learning by utilizing the computer.
- During the spring semester, Three classes are scheduled to be combined with the taiken nihongo (Japanese language experience) course.
- The following are the actual purposes of this combined core:
  1. You will be able to plan and design this course by yourself and study independently.
  2. You will be able to understand how to study by using a computer.
  3. You will be able to use the computer in Japanese:
    - 1) Able to input in Japanese
    - 2) Able to surf on the web sites written in Japanese.
    - 3) Able to search what you would like to know in Japanese.

**Class Procedure:**

- You are expected to study and learn independently. Your instructors will help you in class as your advisors.
- Depending on the class schedule, you may be able to decide whether or not you study in this class by using a computer. Usually, you will be required to turn in a report every week.
- You need to bring a CD — ROM, a Flash Memory, etc. to save your progress in class with you when you come to this class.

Your performance for this computer-assisted class will be evaluated together with other core classes; moreover, your attendance for this class will be counted together with other core classes as well.

You must attend at least two-third of this class.

Missing more than 30 minutes of this class is considered to be absent.

If you leaves early from this class three times, it will be counted as one absence.

\*You must remember that classes will be held 84days for this spring semester. Only those who attend more than 56days will be evaluated. If you come to class for less that 56 days, you will automatically be given an F (Failure) as your final grade of this semester When a student is absent from a class, he/she must hand in a note of nonattendance to the instructor. For details, you must take a look at your core syllabus.



**Reminders:**

- Make sure to bring a CD-ROM, a Flash Memory, etc. to save what you did in class with you when you come to this class.
- During this spring semester, three classes are scheduled to be combined with the taiken nihongo (Japanese language experience) course.

**Instructors:** Mr. Masuyama [ericmasu@xxxx.ac.jp](mailto:ericmasu@xxxx.ac.jp)

Ms Kubota [mkubota@xxxx.ac.jp](mailto:mkubota@xxxx.ac.jp)

**Tentative Course Schedule:**

Wk	Date	Class Contents	Activities
1	4/11	Course Introduction How to use a computer	Acquire information on XXXX's HP.
2	4/18	Introduction to PC Sites (1)	Get to know various PC sites.
3	4/25	Introduction to PC Sites (2)	Prepare for the next week's taiken nihongo class.
4	5/2	Taiken nihongo	
5	5/9	How to use the keyboard	Enjoy keyboarding in Japanese.
6	5/16	Use the PC or Study in class, using other materials. (1)	Plan. Carry out the plan.
7	5/23	Use the PC or Study in class, using other materials. (2)	Carry out the plan.
8	5/30	Use the PC or Study in class, using other materials. (3)	Evaluate the result.
9	6/6	Taiken nihongo	
10	6/13	Use the PC or Study in class, using other materials. (4)	Plan. Carry out the plan.
11	6/20	Use the PC or Study in class, using other materials. (5)	Carry out the plan. Prepare for the next week's taiken nihongo class.
12	6/27	Taiken nihongo	
13	7/4	Use the PC or Study in class, using other materials. (6)	Carry out the plan. Prepare for the next week's presentation.
14	7/11	Presentation	Presentation Evaluate the result.

資料 (2)

RJI&II Combined Core Final Questionnaire

1) About PC Classes :

1. In class, you were introduced to various study sites (grammar, kanji, etc.) and the use of the computer (that included how to use the PC, how to keyboard, etc.). How do you think of these classes?

- ( ) Necessary & good
- ( ) So so
- ( ) Not so necessary
- ( ) Wanted to do something else. Why? \_\_\_\_\_

2. How often did you use the computer in this class?

Every time      80%      50%      30%      Rarely used

3. Tell us why.

- ( ) Like the computer.
- ( ) Found interesting sites.
- ( ) Wanted to check on some things.
- ( ) Had nothing to do.
- ( ) Don't like the computer.
- ( ) Wanted to do something else. \_\_\_\_\_

4. What PC program(s) did you like? Circle the ones that you liked and cross the ones that you didn't like. And provide reasons for each.

- 1. Keyboarding exercise ( )
- 2. Introduced to various sites. ( )
- 3. Kanji practice, using the web sites ( )
- 4. Grammar practice, using the web sites ( )
- 5. Able to surf on the internet. ( )
- 6. Able to write and print, using the computer. ( )
- 7. Others ( )

2) About *Taiken Nihongo* Class Activities :

1. How do you think about *taiken nihongo* activities?

- ( ) Wanted more.
- ( ) Enough
- ( ) Less

2. Answer the following. How did you think?

● Carp Stream Festival

Enjoyed      So so      Didn't enjoy      Didn't participate

● Japanese archery/Flower arrangement

Enjoyed                      So so                      Didn't enjoy                      Didn't participate

● *Tanabata* (Star) Festival

Enjoyed                      So so                      Didn't enjoy                      Didn't participate

3) About the Combined-Core Course in General :

1. What did you study the most in this course?

2. Were you able to stick to your study plan?

(    ) Yes                      (    ) So so                      (    ) No

3. Why do you think you came up with the result above?

4. What kind of course was this for you? (Choose as many as you want)

(    ) Time to study for yourself.

(    ) Time to use the computer freely

(    ) Time to speak with your instructors and class guests freely

(    ) Time to relax

(    ) Time to exchange thoughts & opinions with your classmates

(    ) Time to prepare for *taiken nihongo*

(    ) Others \_\_\_\_\_

5. There were tutorial courses on Monday and Friday. For those who had an elective tutorial on Tuesday, there were three tutorial classes in total. How do you think of this?

(    ) Too much

(    ) Enough

(    ) Want more.

6. How do you think we should do on this course?

(    ) Instructors should teach more in class.

(    ) Want to have more time to do your things.

(    ) Want to have more time to use the computer.

(    ) Want to have more class guests.

(    ) Happy with the present.

7. How do you evaluate this combined core course? Please write down your opinions frankly and freely.